

星野道夫とアラスカ



撮影：星野道夫 ©Naoko Hoshino

星野道夫が愛したアラスカ。彼はアラスカに何を見続けていたのでしょうか。

そして、道夫の最も身近なところにいた直子さんは、

アラスカに魅せられた彼をどう見ていたのでしょうか。

息をのむほど美しいオーロラ、春の始まりを告げるカリブーの大移動…。

写真家、星野道夫が撮影したアラスカの自然・人々をスライドでご覧になりながら、直子さんが語るアラスカの魅力、道夫さんが抱いていた思いをお聴きください。

ほしの なおこ

講師：星野直子さん

(星野道夫事務所代表)

短期大学卒業後、書店に勤務。1993年写真家・星野道夫と結婚し、アラスカでの生活が始まる。撮影にも同行し、フィールドでの時間も共に過ごした。1996年星野道夫が急逝。2000年に星野道夫事務所を設立。

星野道夫氏

19歳の時に目にしたエスキモーの村の空撮写真に惹かれ、村長に手紙を書く。20歳の夏休みにアラスカに約3か月滞在。帰国後、アラスカへの思いが募り写真家の道を選ぶ。アラスカの自然と人々をテーマに写真と文章を数多く発表。1996年急逝。アニマ賞・木村伊兵衛賞受賞。

◇日時 令和7年3月21日(金) 入場無料

◇時間 午後2時～午後3時30分

(受付は午後1時から)

◇場所 伏見ライフプラザ5階鯨城ホール
(名古屋市中区栄一丁目23番13号)

◇定員 750名

【予約不要・当日直接お越しください。】

※要約筆記・手話通訳あり。

お問い合わせ先

名古屋市鯨城学園

☎052-222-7521



地下鉄伏見駅5番出口・8番出口より南へ徒歩7分
地下鉄大須観音駅4番出口より北へ徒歩7分